



がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0_2.html

枚方市立西長尾小学校 令和5年 7月号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、
考えて行動できる子ども）
3. 健康な子ども

自分の気づきを大切に —— よりよい夏休みのために



夏休みに入ります。この期間の目標は決まりましたか。

自分としっかり「対話」して、自分がどんな力をつけたいのか、どんなことがやりた

いのかを決めましょう。どんな自分になるために、どんな努力をするのか決めて実践す

ることが一日一日を大切に過ごすことにつながります。やりたいことが、自分を大きく

成長させるものとなることを願っています。

子どもたちには、他の人と心の通う関係をつくる「対話力」をつけてほしいと願い、

本校では、創作劇活動など、ねばりよく他者と協働する機会を増やしています。

創作劇活動は、他の人と協働して行う言語活動のなかでも、様々な力を鍛えます。

特に意見の違う人とともに創作するので、他人の気持ちについてこれまで気づかなか

ったことに気づくことがあります。また、周りとの折り合いをつけることで新たに生み出

されるもの大切さに気づくこともあります。そんな中でこれからつけるべき力を実感

し、その力を楽しくつけていくことができます。1学期は全学年でそのような機会をつ

くりました。2学期もさらに良い体験ができるよう計画しています。

夏休みの体験をより良いものにし、「対話力」をつけるためにお勧めしたいことがあ

ります。それは、いろいろ考えたことや気づいたことなどを身の周りの誰かに話すこと

です。そして、話し相手の人の考えも聴いてみましょう。そのような「対話」が、自分の

考えを広げ、深めます。そして新たな気づきが生まれ、毎日、感動できる瞬間をつくる

ことができるのです。

1年生で、絵日記の宿題がありますが、これは、他の人に自分の体験を話すための

準備をする活動です。他の人にお話しするような気持ちで書いてほしいです。

保護者の皆様や子どもたちに、この夏、お勧めしたい本があります。吉野源三郎著『君たちはどう生きるか』（岩波文庫）です。主人公のコペル君は15歳。日常生活の中で、身近な疑問をきっかけに深く考え、人としてのありかたについて気づきの体験を重ねるお話です（1935年10月から配本を始めた『日本少国民文庫』全十六巻の最後の配本として1937年7月に刊行された本です）。

※ 岩波文庫版の後書きにあたる部分には「作品について」と題する作者の解説があります。

そこにはこの作品を出版した経緯が書かれています。一部を紹介します。

（前略）当時、軍国主義の勃興とともに、すでに言論や出版の自由は著しく制限され、（中略）山本先生のような自由主義の立場におられた作家でも、1935年には、もう自由な執筆が困難となっておられました。その中で先生は、少年少女に訴える余地はまだ残っているし、せめてこの人々だけは、時勢の悪い影響から守りたい、と思い立たれました。先生の考えでは、今日の少年少女こそ次の時代を背負うべき大切な人々たちである。この人々にこそ、まだ希望はある。だから、この人々には、偏狭な国粹主義や反動的な思想を越えた、自由で豊かな文化のあることを、なんとかして伝えておかねばならないし、人類の進歩についての信念を今のうちに養っておかねばならない、というのでした。（中略）先生は、こういう考えから少国民のための双書の刊行を思いたち、その計画を私に相談なさいました。この相談は、前後、五、六十回も重ねられ、その結果十六巻の『日本少国民文庫』ができましたが、『君たちはどう生きるか』は、その中で倫理を扱うことになっていました。そして最初は、山本先生自身がこれを執筆される予定になっていたのですが、この計画をいよいよ実行にうつす段階になって、残念にも先生は重い目の病気にかかって、執筆はどうていのぞめないということになりました。それで、他に頼む人もないままに、私が代わってこの一巻を書くことになったのです。

私はそのころ哲学の勉強をしていて、文学については、学生時代から好きで親しんでいましたが、何ととってもまったく素人でした。とても山本先生の代わりをつとめる資格はありませんでした。しかし、いまのべたような動機から始まった計画であり、『君たちはどう生きるか』は、十六巻の中でも特にその根本の考えをつたうべき一巻でした。私は非力でしたけれど、計画者の一人として、先生に代わって、この文庫発刊の趣旨をこの一巻に盛りこむ仕事を引き受けねばなりません。（以下略）

作品中にはコペル君の叔父さん、お母さんとの対話の場面が優しくわかりやすく綴られています。大人も、子どもたちとの対話の際の姿勢を学ぶことのできる作品です。

夏季休業中の自由課題 応募作品一覧

学校を通じて応募するものです。

応募は自由です。詳細はホームページ(課題名で検索)をご覧ください。

校内メ切は8月28日(月)です。

課題	規格等	対象学年	参加賞	応募先
1 全国書画展覧会作品募集	課題指定あり(水洗いで落ちる墨汁は不可) 詳しい募集要項については「全国書画展覧会」ホームページに掲載。 作品整理料として1人100円必要	全学年	無	全国書画展覧会運営委員会
2 税に関する小学生の習字募集	税に関するもので、半紙に書く。 作品の左側に、必ず学校名、学年、名前を明記してください。	全学年	有	枚方税務署
3 第42回 人権啓発詩・読書感想文	人権の大切さや差別のない明るい社会をつくることの大切さなど「人権」をテーマにしたもの。 詩部門：形式・長さ決まりはありません。(A4サイズたて書き) 読書感想文部門：400字詰め原稿用紙(A4サイズ・たて書き)	全学年	無	大阪府・大阪府教育委員会・人権啓発推進大阪協議会
4 第73回 社会を明るくする運動 作文コンテスト	日常生活の中で友だちや家族など身の回りの人たちが安全・安心に過ごせるように心がけていることについて、自分の体験や考えを感じることを作文に書いてください。 (専用原稿用紙3枚～5枚(最低3枚は必ず)) 1行目に題名、2行目に学校名、学年、名前を書く	5・6年	有	法務省 枚方・交野地区「第73回社会を明るくする運動」委員会
5 「いつもありがとう」作文コンクール	日常生活を振り返りながら、いつもお世話になっている家族への感謝の気持ちを作文に書きましょう。 原稿用紙3枚まで 1行目に題名、2行目に学校名・学年・名前を書く	全学年	無	朝日学生新聞社 シナネンホールディングス
6 「木のある暮らし」作文コンクール	木や、木でできたものと私たちの生活や社会との関係について日常生活の中で考えたり感じたりしたことを題材にしてください。 1行目に題名、2行目に学校名・学年・名前を書く	全学年	有	一般社団法人 日本木造住宅産業協会
7 「対話」で綴る400字創作戯曲(台本)コンクール	登場人物(名前は一文字)が二人、台詞(せりふ)だけで綴る物語の台本です。身近な生活の中のひとコマを題材にしてください。原稿用紙1枚で提出。 原稿用紙のマス右外側に、題名、学年、組、名前を書く	3年～6年	有	校長

6月30日 1年生 演劇を生かしたコミュニケーション授業

1年生は「何に変身? あてっこゲーム」を行いました。教室の真ん中に、子どもたちの力を借りて養生テープで2メートル四方の舞台をつくります。変身したい人は、手を挙げます。動物や人、モノ、なりたいものを決めて、一人ずつ自由にジェスチャーで演じます。バナナに変身した人とのやりとりが、とても面白かったです。



7月10日 3年生

整理体操をしていました。シャワーを浴びながら、元気に「ごしごし」と声を合わせて、身体をきれいにします。



子どもの安全・安心のための事業紹介

今年度より始まった放課後オープンスクエアの運営担当は「枚方市教育委員会 放課後子ども課」です。お問い合わせは、放課後子ども課へお願いします。

子どもの居場所づくりの地域の取り組みとして、「枚方市子ども青少年部 子ども青少年政策課」では、ボランティアで運営されている「子ども食堂」の支援を行っています。本校に最も近い子ども食堂は、校区外(田口山小学校区)になりますが、「子ども食堂わらび」があります。

※子ども食堂の取り組みはSDGsが掲げる、「誰一人取り残さない」という精神に通じる取り組みです。

枚方市内の「子ども食堂」の取り組みは、右のQRコードでアクセスできます。⇒



「子ども食堂」実施団体のご案内

子どもたちにあたたかい居場所を

子ども食堂とは?
子どもたちのために、地域の手で温かい食事や居場所の場を提供する取り組みです。枚方市内では約20カ所、主に夕方を中心に月1回～4回程度開催されています。

あなたの力を子ども食堂に活かしませんか?
食材の寄付をいただける方、子どもに勉強を教えていただける学生の方(学習ボランティア)が求められます。是非下記までお問い合わせください。

問い合わせ先: 枚方市 子ども青少年政策課
TEL: 072-841-1376 FAX: 072-843-2244 Mail: kodou@city.hirakata.osaka.jp

☆ 西長尾小学校ブログより 6・7月のようす

日々の学校の様子は「枚方市立西長尾小学校ブログ」をごらんください。

右のQRコードでアクセスできます。⇒



6月27日 2年生 系統性のある、演劇を活用した対話力を育む指導

舞台俳優の方々にご指導いただきました。「何をやっているのでしょうか あてっこゲーム」

グループごとにお題の書かれた紙をもらいます。

それぞれのお題にしたがって、グループで

役割を決め、どのようにジェスチャーで表現

するかを相談し、練習をします(約10分)。

その後、あらかじめみんなで作った舞台上で

順番に発表します。どのように見えたかを見て

いた人は答えます。

「ミニトマトのみずやり」というお題では、植木鉢の中のミニトマトの種が、水をやるたびに少しずつ大きくなっていくのを時間をかけて丁寧に演じていました。

【「対話力」(非認知能力)向上のための指導】 2023-06-28 20:45 up! *



7月4日 4年生 全校朝会で合唱

代表委員の方々が立派に進行を務めました。給食委員会からのお知らせの後、通級指導教室のお話があり、最後には先日の枚方市音楽会に出演した4年生の合唱の発表がありました。



7月12日 6年生

調理実習です。白玉団子を上手にたくさん作っていました。



7月14日 5年生

おはなしキュービッドさん 今日とはどんな物語との出会いがあったでしょうか。

